

科目区分	専門分野 II			科目番号	1001	曜日時間	不定期
授業科目	小児看護学概論						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次前期	授業形態	講義
担当教員							
授業目的	小児の健全な成長・発達を促進するための看護を学ぶために、小児の健康問題、社会の中の小児の生活を理解する。さらに病気・障害が小児の生活にあたる影響を理解し、小児看護の果たすべき役割について学ぶ。						
中核	子どもと家族						
授業目標	1. 小児看護の役割と倫理および最善の利益について理解できる。 2. 健全な成長・発達を理解できる。 3. 小児の生活の場としての環境を理解できる。 4. 健全な成長発達を促すための看護を学ぶ。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	15	1. 小児看護の特徴と理念 1) 小児看護の目ざすところ 2) 小児と家族の諸統計 3) 小児看護の変遷と倫理と課題 2. 子どもの成長・発達 1) 成長・発達と進み方 2) 成長・発達に影響する因子 3) 成長と発達の評価 3. 小児看護における理論 4. 子どもの発達段階と遊び 発表 5. 新生児 1) 新生児の特徴と発達 2) 新生児の療育および看護 6. 乳児 1) 乳児の特徴と機能 2) 乳児の療育および看護 7. 幼児 1) 幼児の特徴と機能 2) 幼児の療育および看護 8. 学童 1) 学童の特徴と機能 2) 学童の不応行動・症状 3) 学童を取り巻く諸環境 4) 学童の療育および看護 9. 思春期・青年期の子ども 1) 形態的・身体生理の特徴 2) 知的・心理的・社会的機能 3) 問題と行動 4) 思春期の看護 10. 子どもの栄養 1) 意義と食育 2) 乳児期・幼児期・学童期・思春期の栄養 11. 家族の特徴とアセスメント 1) 子どもにとっての家族とは 2) 家族アセスメント 12. 子どもと家族を取り巻く社会① 1) 児童福祉・母子保健 2) 医療費の支援 13. 子どもと家族を取り巻く社会② 予防接種 14. 子どもと家族を取り巻く社会③ 学校保健 15. まとめ・評価	講義	30			
終了後課題	リフレクションノート提出						
評価計画方法	講義後小テスト、筆記試験、リフレクションノート、授業中の態度から総合的に評価する。						
テキスト参考図書	奈良間 美保他著：小児看護学①小児看護学概論・小児臨床看護総論，医学書院 厚生労働統計協会編著：国民衛生の動向，厚生労働統計協会 筒井真優美監修：小児看護学第8版，日総研						
実務歴有							
講義への反映							
備考	A4サイズのノート（リフレクションノート）とクリアファイル（ポートフォリオ）を準備すること						